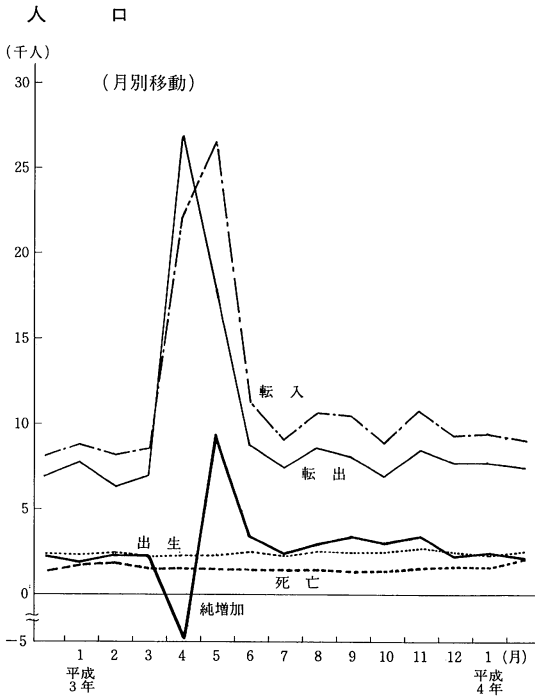
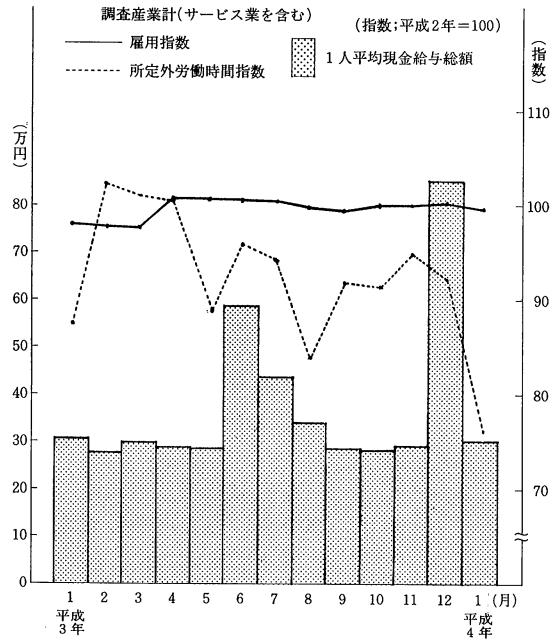


● 今月の主な動き

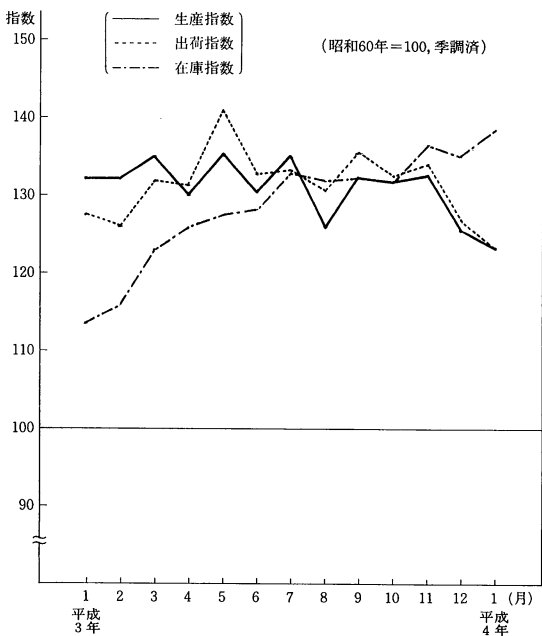
# 今月の主な動き



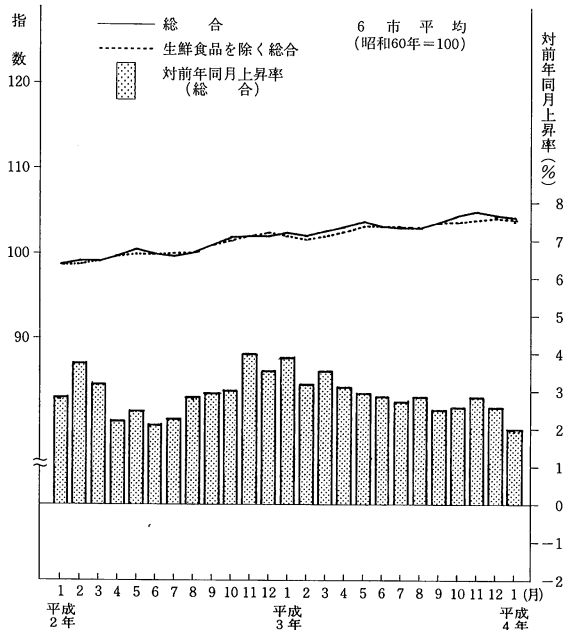
賃金・労働時間・雇用



鉱工業指数(生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



## 主な動きのあらまし …………… 企画部 統計課

### ■ 人 口 (2月1日)

本県の人口は、1月中に2,125人増加し、2月1日現在で2,887,181人(男1,441,384人, 女1,445,797人)となった。

内訳は、自然動態で438人(出生2,515人, 死亡2,077人)増加し、社会動態で1,687人(転入9,173人, 転出7,486人)増加した。前年同月と比べると32,621人(1.14%)の増加で

ある。

市町村別では、増加が14市44町村, 減少が6市23町村, 増減なしが1村である。

世帯数についても1月中に1,250世帯増加し861,646世帯となった。

### ■ 賃金・労働時間・雇用 (1月)

#### 1. 平均賃金の推移

1月の現金給与総額は、調査産業計で301,042円, 対前年同月比2.2%減, このうちきまって支給する給与は276,294円, 対前年同月比3.7%増であった。また、このうち所定内給与は250,372円, 対前年同月比5.3%増であり, 超過労働給与は25,955円, 対前年同月比9.9%減であった。

なお、物価上昇分を差し引いた実質賃金は、対前年同月比4.1%減であった。

※この地方調査の結果は事業所規模30人以上です。なお、事業所規模5人以上の結果についての問合せにも応じます。

#### 2. 労働時間

1月の総実労働時間は、調査産業計で148.4時間, 対前年同月比1.8%減であった。このうち所定内労働時間は133.6時間, 対前年同月比0.6%減, 所定外労働時間は、14.8時間, 対前年同月比12.4%減であった。

#### 3. 雇用の動き

1月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると、対前年同月比1.8%増であった。

### ■ 鉱工業指数〈生産・出荷・在庫〉 (1月分)

本県における平成4年1月の“鉱工業指数”(昭和60年=100)は、季節調整済指数で、生産が123.5, 出荷が123.5, 在庫が138.8で、前月比は、生産が△1.7%の低下, 出荷が△2.7%の低下, 在庫が2.8%の上昇であった。

前年同月比(原指数)は、生産が△6.4%の低下, 出荷が△3.2%の低下, 在庫が22.4%の上昇であった。

業種別に前月比をみると生産では、鉱業、輸送機械工業、金属製品工業等が上昇し、化学工業、非鉄金属工業、石油・石炭製品工業等が低下した。出荷では、鉱業、金属製品工

業、輸送機械工業等が上昇し、電気機械工業、食料品・たばこ工業、化学工業等が低下した。在庫では、金属製品工業、精密機械工業、食料品・たばこ工業等が上昇し、鉱業、鉄鋼業、窯業・土石製品工業等が低下した。

特殊分類別にみると生産では、建設財が上昇し、その他用生産財、耐久消費財等が低下した。出荷では、建設財、資本財が上昇し、耐久消費財、非耐久消費財等が低下した。在庫では、建設財、非耐久消費財等が上昇し、鉱工業用生産財が低下した。

### ■ 消費者物価指数 (1月)

平成4年1月の茨城県消費者物価指数(6市平均)は、総合で104.2(平成2年=100)となり、前月比△0.2%の下落, 前年同月比2.0%の上昇となった。

今月上がった主な項目……果物7.1%, 保健医療サービス1.5%, 身の回り用品1.3%, 外食1.1%

今月下がった主な項目……衣料△7.2%, シャツ・下着△6.9%, 乳卵類△5.1%, 野菜・海藻△2.7%

生鮮食品を除く総合は103.9となり、前月比△0.3%の下落, 前年同月比2.2%の上昇となった。

#### 費目別指数

(平成2年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	104.2	△0.2	2.0	保健医療	100.4	0.6	0.3
食 料	106.4	0.6	3.0	交通通信	100.5	△0.1	△1.4
住 居	105.4	0.1	2.9	教 育	102.6	0.0	1.0
光熱・水道	102.3	0.0	△1.3	教養娯楽	105.3	0.6	3.0
家具・家事用品	101.2	0.3	1.3	諸 雑 費	102.4	0.3	2.0
被服及び履物	104.2	△5.4	3.5	生鮮食品を除く総合	103.9	△0.3	2.2